

# スポーツを通じた国際理解教育

～エスニックスポーツの教材化に関する提言～

早稲田大学 間野義之ゼミ

○山本 一誠  
高木 美佑

若林 大貴  
林 貴美子

竹内 洸太  
亀井 大祐

*STEP 1*

**緒言**

*STEP 2*



**調査**

*STEP 3*

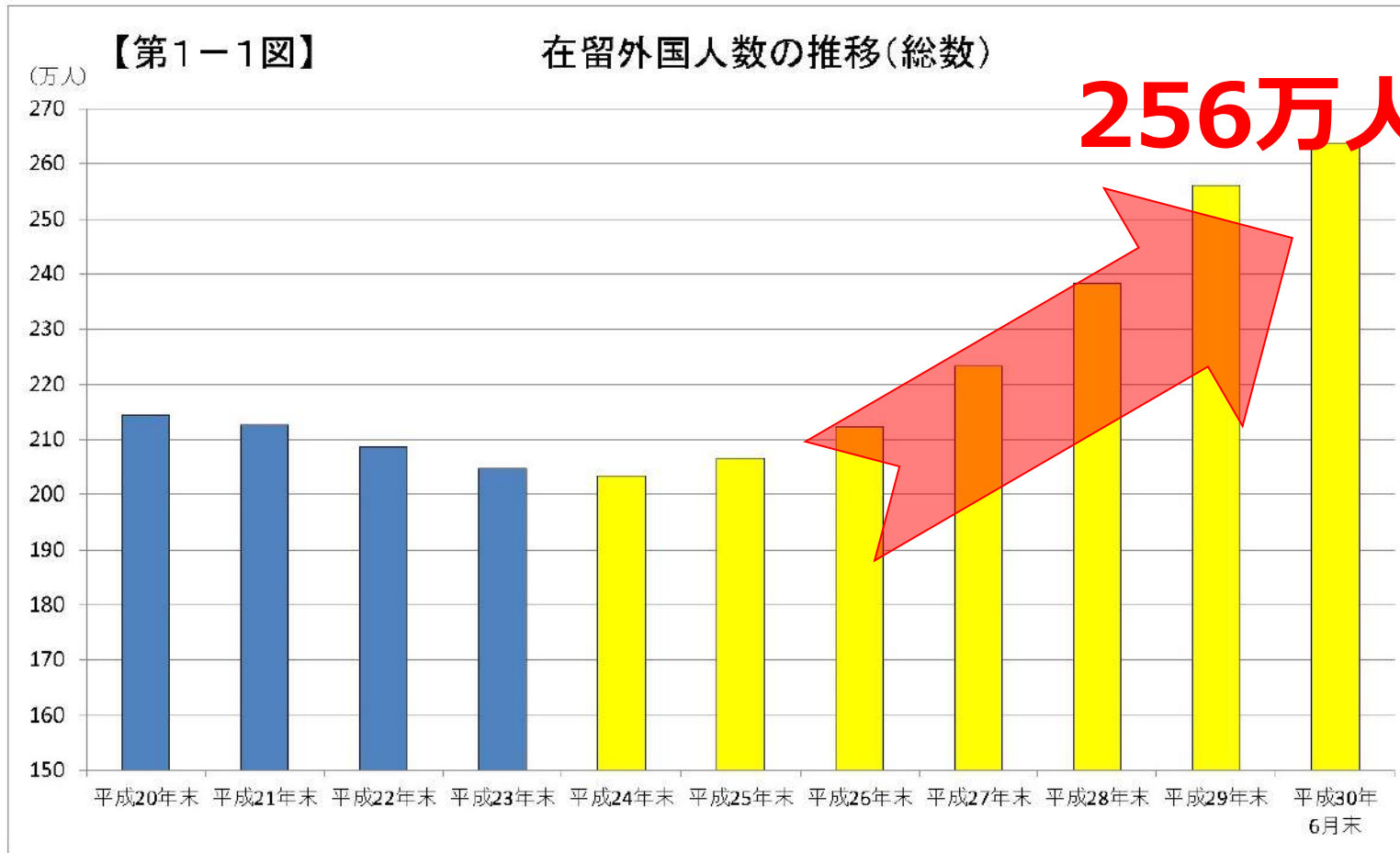
**政策提言**

*STEP 1*

---

# 緒言

## 在留外国人の推移



256万人超

在留外国人の数は、  
ここ5年間で  
**激増**

しており、これからも  
**増えていくことが  
予想される。**

出典：法務省「在留外国人統計（旧登録外国人統計）統計表」

## 移民統合政策指数ランキング

		スコア		スコア		スコア		スコア			
1	スウェーデン	78	11	オランダ	60	21	スイス	49	31	ブルガリア	42
2											41
3											40
4											37
4											37
6											35
7											31
8											25
9	アメリカ	60	19	アイルランド	52	27	<b>日本</b>	<b>44</b>			
10	ドイツ	61	20	オーストラリア	50	30	クアチア	43			

38か国中

27位

## POLICIES - SUMMARY



### LABOUR MARKET MOBILITY

Rank:  
15 of 38  
Score:  
65



### FAMILY REUNION

Rank:  
20 of 38  
Score:  
61



### EDUCATION

Rank:  
29 of 38  
Score:  
21

Potential Beneficiaries  
15y/o with immigrant  
background:  
0%



### HEALTH

Rank:  
16 of 38  
Score:  
51



### POLITICAL PARTICIPATION

Rank:  
23 of 38  
Score:  
31



### PERMANENT RESIDENCE

Rank:  
20 of 38  
Score:  
59



### ACCESS TO NATIONALITY

Rank:  
23 of 38  
Score:  
37



### ANTI-DISCRIMINATION

Rank:  
37 of 38  
Score:  
22

Outcome Indicators  
Non-EU naturalisation:  
1%

特に**教育分野**での  
移民統合政策  
(多文化共生に向けての政策)  
が整備されていない。

## Dimension 4: Intercultural education

- Ranked 34th, JP offers less support to public schools than most MIPEx countries do to help all pupils develop an international and intercultural understanding (see AU/CA/NZ/UK, Nordics)

**日本は、MIPExで調査した各国より、異文化理解や国際理解を促進する子供たちに対する教育政策が整備されていない。**

**よって、その点では34位である。**

# 差別によるいじめの事件が起きている。

NEWS 2017年09月17日 10時00分 107

群馬県桐生市の小学校に通っていた上村明子さん（当時12）は2010年10月23日、自宅で自ら命を絶った。母親はフィリピン出身で、同級生から「お前の母さんはゴリラみたいだ」「きもい」「くさい」などと言われ、班ごとの給食も一人で食べるなどのいじめを受けていた。学校や桐生市はいじめがあったことは認めたものの「自殺との直接的な原因は特定できない」との姿勢を貫いたため、遺族が市や県、加害者の家族を相手取って裁判を起こし、2014年までにすべて和解が成立した。

## 川崎W女児いじめ事件

『教育委員会の調査の結果、本件は、民族差別を背景に、平成12年（ママ）4月よりほぼ1年間にわたって、中国人の父親と日本人の母親をもつ女子児童（当時3年生）に対して行われた暴力及び侮辱を中心とする、全市的に見ても稀な、きわめて悪質ないじめであり、川崎市立M小学校及び学校を指導する立場にある教育委員会の責任は重大であると深く認識するものです。』川崎市教育委員会教育長が当該小学校校長宛に出した通知

（2004年1月）は、ある深刻な民族差別に関わるいじめ事件について、教員の責任を厳しく追及しました。

加害者の一人は同学年の男子児童で、1、2年生の頃から被害児童を「中国人」とはやし立てることがありました。3年生になって、被害児童はその男子児童と同じクラスになり、その男子児童を中心に、クラスに男子3人、女子3人のいじめ集



スポーツは、多文化共生のモデルである。

トンプソン・リー

「文化が違うこと = 生活のルールが違うこと」

であり、多文化が共生するには最低限、共通したルールが必要である。

だが、**スポーツは**、生活のルールが違っていても任意のスポーツの**共通のルールに従うこと**によって**高度な共同作業ができる**。

# 多文化共生とは

国籍や民族などの異なる人々が、**互いの文化的ちがいを認め合い  
対等な関係を築こう**としながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

多文化共生の推進に関する研究会報告書 2006（総務省）

日常生活



文化・ルールの理解

日本語

日本語や文化・ルールの理解の壁が高すぎるために習得に時間がかかり、疎遠になる。

→ 「**対等な関係を築こう**」  
としなくなる。

# スポーツは多文化共生のモデルである。

スポーツをしている時

言語

文化・ルールを理解

共通ルールで成り立つ  
非言語的コミュニケーション

非言語コミュニケーションが多く  
共通ルールで成り立つスポーツは、  
互いの距離を縮めやすく、  
相手への気づきを多くもたらす。

→初めから対等で  
「対等な関係を築こう」とする。

# スポーツの特性

緒言

調査

政策提言

言語の壁を  
超えることのできる

非言語コミュニケーション

教育との  
親和性の高さ



# 研究の目的

多文化共生社会の実現に向けた

教育分野の政策整備のため

スポーツを駆使した政策提言をする。



*STEP 1*

---

緒言

*STEP 2*

---



調査

調査場所：  
公益財団法人  
大阪国際交流センター

人と人、世界と大阪を繋ぐメインステージ



交流イベントの課題などについて知っているだろう。

## 調査1 (インタビュー調査)

### 対象

公益財団法人

大阪国際交流センター職員2名



### 質問内容

外国人との国際交流のイベント  
はやっているか？

イベントをやる際の問題点は？



## 大阪国際交流センター Aさん

### 発言

- ・以前、アウトドアな交流イベントはあった。  
しかし、ボランティアなどの人材確保、人件費、経費の理由で継続せず。
- ・イベントを企画しても宣伝が上手くいかず人が集まらない。  
集まっても日本人が多く集まってしまう。



### 確認された事実

- ・イベントは企画されているものの、宣伝が上手くいっていない。  
日本人ばかりが集まってしまい**外国人が集まらない。**
- ・人材確保や人件費など運営側の負担が大きいため、継続的に行うのが  
難しく、**一過性なものとなってしまう。**

年数回のイベントでは、意味がない。

人（日本人、外国人）が

**安定かつ自動的に**集まり、

**継続的に運営できること**が必要。

## 調査場所：横浜市立上飯田中学校

### 特徴

いちょう団地には、  
11か国の人々が住んでいる。  
その学区内にあるのが、  
**横浜市立上飯田中学校**

**外国人の生徒が3割を占めるが、  
多文化共生が成り立っている。**

### 特徴的な活動

外国に関する授業

国際教室

難民支援事業

外国生徒への支援セミナー

**多文化共生に向けてのヒントが何か隠されているだろう。**

## 調査2（インタビュー調査）

### 対象

横浜市立上飯田中学校

副校長 井上 先生

国際教室担当 塙 先生

### 質問内容

差別や偏見はあると感じるか？

学校の雰囲気はどうか？

外国のことを学ぶ時間はあるか？

等

## 上飯田中学校 井上副校長先生

### 発言

- ・ 外国籍の子どもの割合は約25%で、外国籍であることが珍しくないので差別や偏見がない。
- ・ 外国籍の生徒が溶け込みやすい雰囲気。外国籍の生徒同士でも助け合う。



### 確認された事実

- ・ 外国籍の人の割合が多く **普段から外国籍の人と接する機会が多い**と、日本人の差別や偏見はなくなる。
- ・ 新しく来た外国籍の生徒に対しても、**生徒間でその生徒のことを当たり前のように助け**、溶け込みやすい環境を作っている。

## 上飯田中学校 国際教室担当 埴先生

### 発言①子どもの教育

- ・ 総合の時間に外国について学ぶことがある。生徒にとっては外国のことを学ぶことは当たり前で、日本以外の国を「外国」と意識していない。



### 確認された事実

- ・ 生徒は、外国籍の生徒と**共に過ごすことは「当たり前」で、「外国」に対する差別や偏見はない。**

## 上飯田中学校 国際教室担当 埴先生

### 発言②地域

- ・初期のいちよう団地では、ごみの捨て方や騒音、匂いなどの軋轢が絶えなかったが、根気強く教えることで、秩序が生まれた。
- ・上飯田中学校は、いちよう団地における多文化まちづくり工房の活動やお祭りに参加。



### 確認された事実

- ・ **根気強く外国人と向き合うこと**で秩序が生まれ、外国人に対する差別や偏見がない環境が生まれる。
- ・ 外国人が多く住むいちよう団地の **NPO法人**では、**様々なイベントが行われていて、学校とも協力している。**

## どんな政策提言がいいのか？

**地域と連携し、長期的に外国人と接する**

- ・根気強く向き合う**安定的に人が集まる**機会を生み出し、  
**「当たり前」を作る。**

・一過性なものとなってしまう。



NPOの注しでは、様々な

・普段から外国籍の人と接す

**地域のコミュニティと協力し、  
スポーツで外国人と接する授業を導入することで、  
小学生の間に人種を超えた繋がりを当たり前にする。**



*STEP 1*

**緒言**

*STEP 2*



**調査**

*STEP 3*

**政策提言**

# 政策提言

地域の外国人と共に

エスニックスポーツを行う授業を導入する。

# 何故、「エスニック」スポーツなのか？

## 民族スポーツの実践による他者文化の受容

### ～カナダにおけるドラゴンボートフェスティバルの事例～

移民人口の多いカナダにおいて  
中華系の民族スポーツ「ドラゴンボートレース」  
の大会が盛況している。



民族スポーツの実践という身体的経験による  
異文化理解を超える  
「他者文化の受容」の可能性について考察された論文

# 何故、「エスニック」スポーツなのか？

イベントの儀礼的な側面や  
文化の表象としての諸活動に関与することは、  
「閉じられたコード」の理解を試みることでもあり、  
より主体的に文化を理解しようとする姿勢に向かう。

エスニックスポーツが、一般的なスポーツより  
「互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こう」  
とするのに役立つ可能性がある。

**各地域の外国人と共に  
エスニックスポーツを行う授業を導入する。**

地域と連携し、長期的に外国人と接する  
安定的に人が集まる機会を生み出し、  
「当たり前」を作る。

**スポーツによる  
多文化共生社会の実現**

# 学習指導要領に組み入れる

## 「体育科改訂、内容及び内容取り扱いの改善」

＜運動やスポーツとの多様な関わりを重視した内容の改善（p11, L2-7）＞

“豊かなスポーツライフの実現を重視し、スポーツとの多様な関わり方を楽しむことができるようにする観点から、体力や技能の程度、**年齢や性別及び障害の有無等にかかわらず**、運動やスポーツの多様な楽しみ方や関わり方を共有することができるよう、**共生の視点**を踏まえて指導内容を示すこととした。”

**「共生の視点」は重要視されている。**

# 学習指導要領に組み入れる

「体育指導要領解説、5-6年,表現運動、知識及び技能の欄」 p147-149

＜フォークダンス＞

“踊りの由来や背景を理解し、踊りを通して日本の地域や世界の文化に触れるようにすること”

## 問題点

→小学生5,6年と**対象が狭い。**

→日本人だけで異国のダンスをやって、  
**異なる人種との「共生」の視点は身につくのか？**

# 学習指導要領に組み入れる

「体育指導要領解説、5-6年、表現運動、知識及び技能の欄」 p147-149

< エスニックダンス >

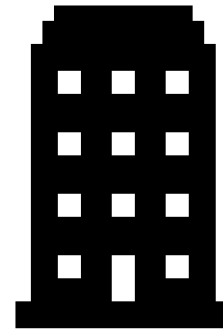
“ エスニックダンスの由来や背景を理解し、  
エスニックダンスを通して日本の地域や  
世界の文化 **そして人** に触れるようにすること。 ”



緒言

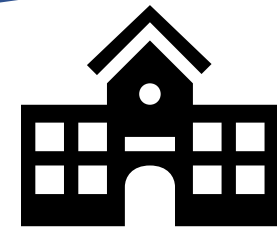
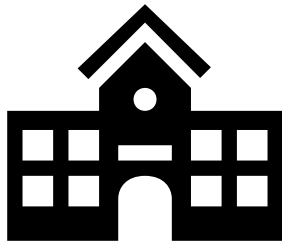
調査

政策提言



〇〇市 教育委員会

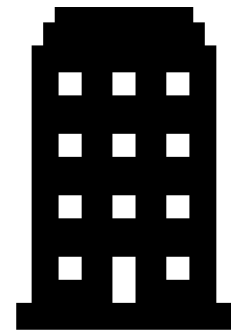
協力要請



〇〇市のインターナショナルスクール・地域国際協会

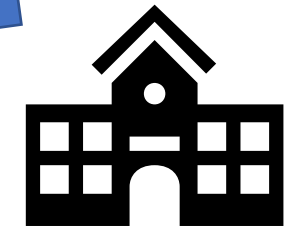
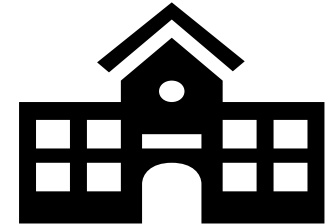
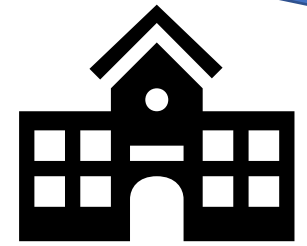
**インターナショナルスクールの  
人材で、各担当学校に派遣  
する先生を決める。**

**ジェニファーがカナダの出身だったよね？  
カナダの民族スポーツ「ハイランドゲームズ」をこの学校に教えて！  
で、リョウ君は中国出身だから・・・（以下略）**



〇〇市教育委員会

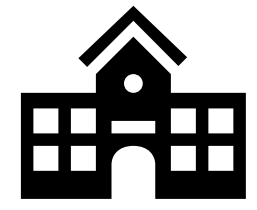
協力要請



インターナショナルスクール・地域国際協会

指導者の派遣・子供の派遣

〇〇市の小学校



# エスニックスポーツを知る

緒言

調査

政策提言

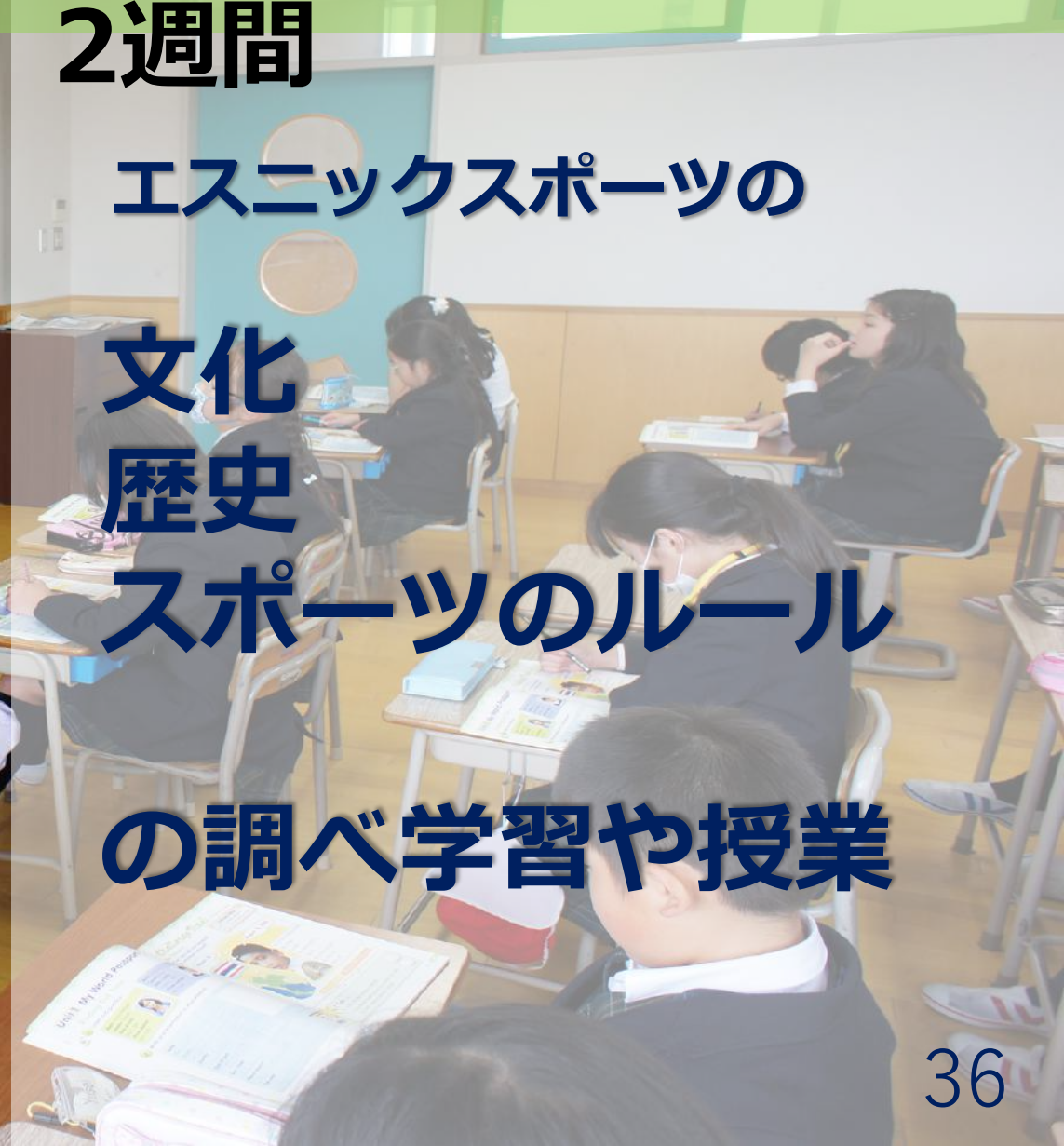
## 2週間

### エスニックスポーツの

### 文化 歴史

### スポーツのルール

### の調べ学習や授業

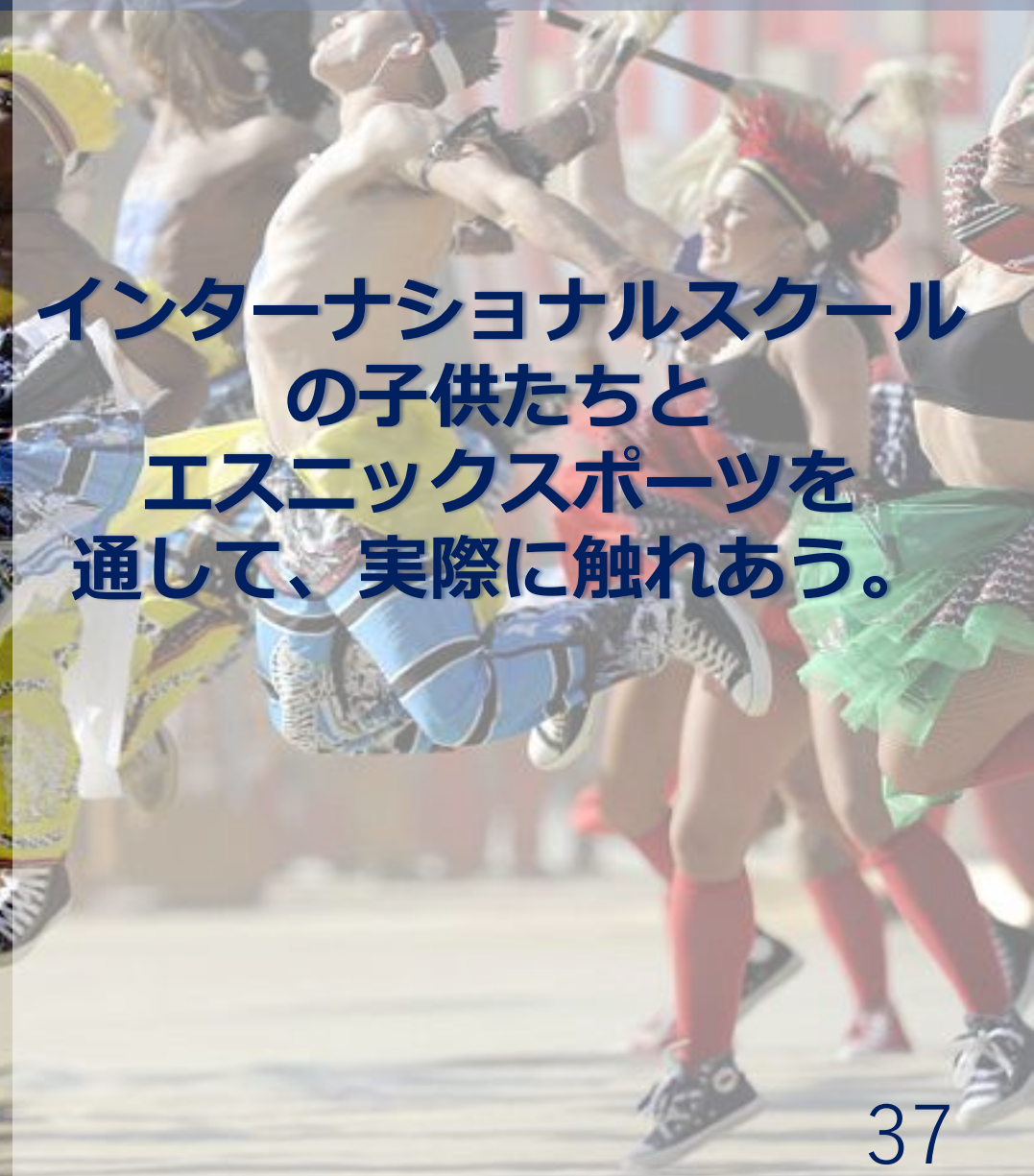


# エスニックスポーツをする

緒言

調査

政策提言



インターナショナルスクール  
の子供たちと  
エスニックスポーツを  
通して、実際に触れあう。

## 第2期スポーツ基本計画（スポーツ庁、2017.4）

スポーツで「世界」とつながる！

### SPORTS FOR TOMORROW

国際競技大会の招致

国際競技力の向上

スポーツの価値

スポーツを通じた国際交流

## 「スポーツ交流を国民的な文化に」



「世界」  
とつながる

- スポーツ・フォー・トゥモローの促進  
（スポーツを通じた国際協力・貢献）
- オリンピック・パラリンピック教育
- 国際競技大会の成功
- 新国立競技場の整備
- 国際競技大会の招致
- 国際機関役員の増加
- 国際競技力強化を支援するシステム
- 次世代アスリートの戦略的な発掘・育成
- ドーピング防止活動の推進
- スポーツ・インテグリティの向上

身近に諸外国の人がいることが  
「当たり前」になる。

エスニックスポーツを通して、  
「互いの文化的ちがいを認め合い、  
対等な関係を築こう」

とする多文化共生の心を持つ子供達が増える。



間接的な大人への教育効果  
(リバーズエデュケーション)

**家庭・親へ**

「互いの文化的ちがいを認め合い、  
対等な関係を築こう」  
とする多文化共生の心が広がる。

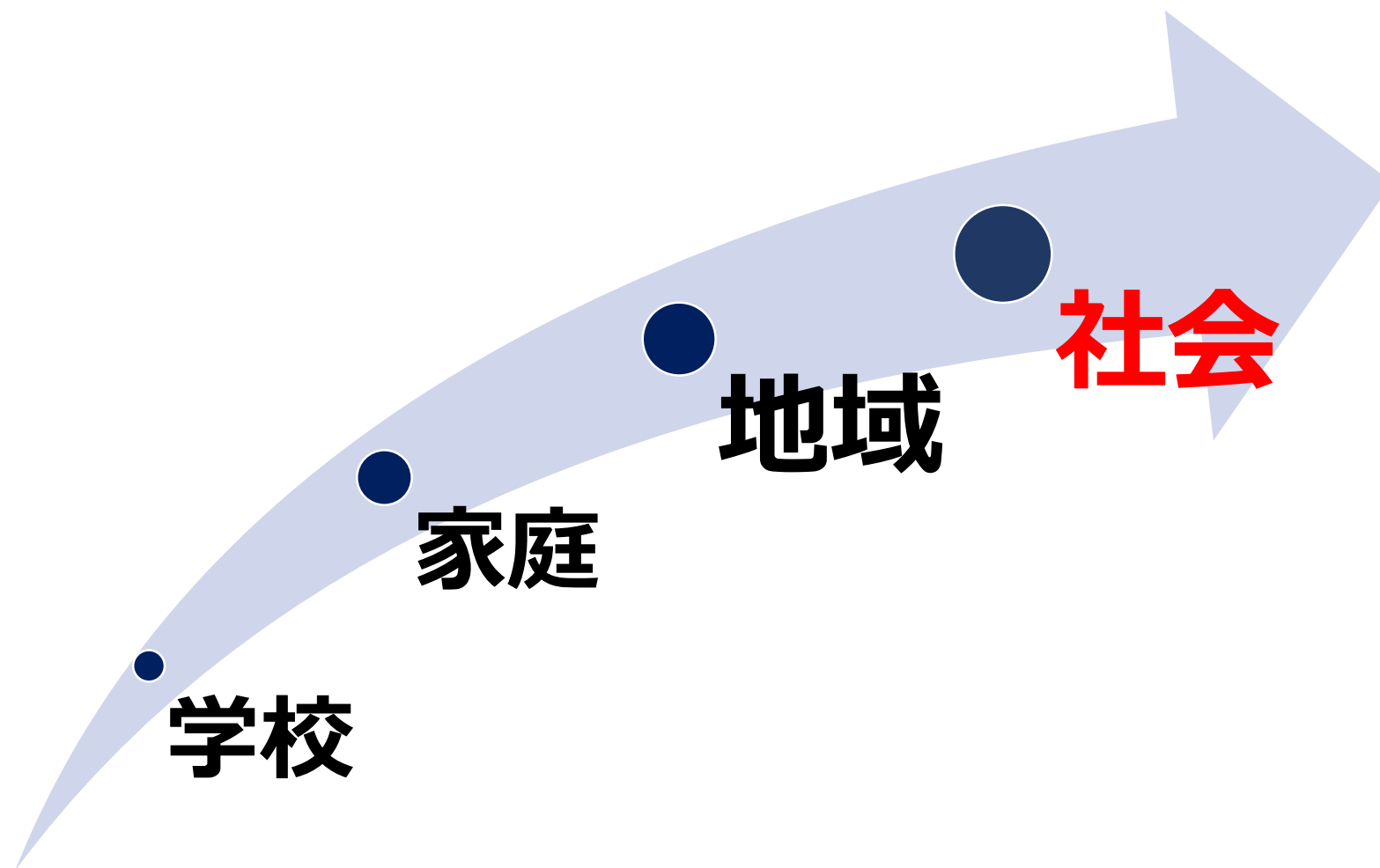




**地域・社会に**  
多文化共生の心が広がっていく。



異文化理解の範囲拡大⇨多文化共生社会の実現へ



# 参考文献

- **法務省「在留外国人統計（旧登録外国人統計）統計表」**

([http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei\\_ichiran\\_touroku.html](http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_touroku.html))

- **Integration Policy Index 2015**

(<http://www.mipex.eu>)

- **小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編**

([http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/micro\\_detail/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2018/05/07/1387017\\_10\\_2.pdf](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2018/05/07/1387017_10_2.pdf))

- **スポーツ庁「第2期スポーツ基本計画」**

([http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop01/list/detail/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2017/04/14/jsa\\_kihon02\\_slide.pdf](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/__icsFiles/afieldfile/2017/04/14/jsa_kihon02_slide.pdf))

**民族スポーツの実践による他者文化の受容 ～カナダにおけるドラゴンボートフェスティバルの事例～（田里千代）**

(<https://opac.tenri-u.ac.jp/opac/repository/metadata/2279/GKH021804.pdf>)